DMG森精機株式会社
東京グローバルヘッドクォータ
〒135-0052 東京都江東区潮見 2-3-23
TEL: 03-6758-5900（代）

Press Release

2024 年 7 月 1 日

DMG 森精機、SBT「ネットゼロ目標」の認定を取得

DMG 森精機株式会社およびグループ会社のドイツ DMG MORI AKTIENGESELLSCHAFT（以下、当社）は、2050 年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「ネットゼロ」の目標において、2024 年 6 月に国際的な環境団体の SBT イニシアチブ[*1] から認定を取得しました。

当社は 2021 年 11 月に、2030 年までの温室効果ガス排出量削減目標について SBT 認定を取得しました。2019 年を基準として、2030 年までに Scope 1 および Scope 2 で 46.2%の排出削減、Scope 3 で 13.5%の排出削減を目標としておりました。[*2] このたびのネットゼロの認定取得により、2019 年を基準として、2030 年までの短期目標においては Scope 3 の排出削減を 27.5%に引き上げ、2050 年までの長期目標においては、Scope 1、Scope 2、Scope 3 の合計で 90%の排出削減を新しい目標としています。残りの 10%は大気中からの炭素除去によりネットゼロを実現できることが定められています。

当社は、持続可能な社会を目指し、人と自然が共生できる社会、資源循環型の社会に向けた取り組みを行っています。グループ全体で太陽光発電システムの導入や CO_2 フリー電力の購入など再生可能エネルギーの活用拡大を図るとともに、工作機械の製品ライフサイクルの各段階で資源を有効活用するサーキュラーエコノミーの強化など、CO_2 排出量削減に向けた様々な取り組みを進めています。また、当社が推進するマシニング・トランスフォーメーション（MX）は、お客様の生産性向上と経営資源の節約になり、CO_2 排出量の削減につながります。当社は、工作機械事業の深化を追求することが気候変動というグローバルな課題に貢献するものと考えており、今後も持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組んでまいります。

SCIENCE BASED TARGETS
DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

◆目標

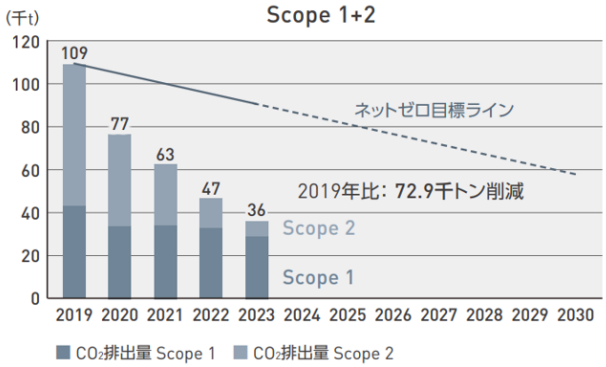
	SBT認定取得目標（2023年12月末時点）	新目標=ネットゼロ目標	
目標年	2030年	2030年	2050年
Scope 1及びScope 2	▲46.2%	▲46.2%	▲90%（Scope 1、Scope 2及びScope 3の合計）
Scope 3	▲13.5%	▲27.5%（2030年のScope 3の目標値を引き上げ：サーキュラーエコノミー強化、サプライヤーとの協働）	

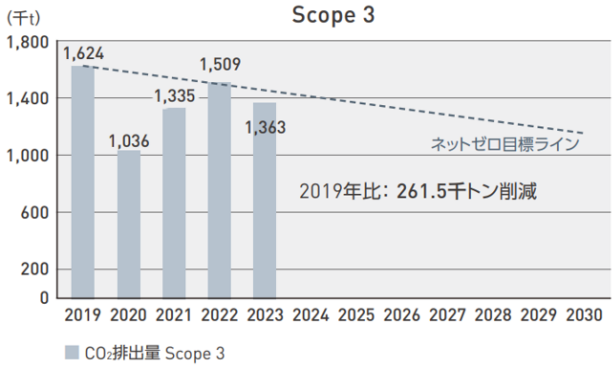
（いずれも2019年基準 総排出量ベース）

【お問い合わせ先】 広報・マーケティング部 E-mail ： users@dmgmori.co.jp

DMG森精機株式会社
東京グローバルヘッドクォータ
〒135-0052 東京都江東区潮見 2-3-23
TEL: 03-6758-5900（代）

◆CO_2排出量の推移 ※第三者による認証を取得





◆当社のサステナビリティへの取り組みについて、当社 Web サイトにて詳しくご紹介しています。
https://www.dmgmori.co.jp/corporate/sustainability/index.html

*1 2015 年に CDP、国連グローバル・コンパクト、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）の 4 機関が共同で設立した国際的な団体。世界の気温上昇を産業革命前から 1.5℃～2℃に抑えることを目指す「パリ協定」が求める水準となるように、科学的根拠に基づいた温室効果ガス排出削減目標策定を企業に推進している。
（Web サイト：https://sciencebasedtargets.org/）

*2 Scope 1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼、工業プロセス）
Scope 2：他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う温室効果ガスの間接排出
Scope 3：Scope1、Scope2 以外の温室効果ガスの間接排出
（購入した製品やサービス、上流と下流の輸送、販売した製品の使用、製品の廃棄等）

以上